

新しい働き方のベースとなる考え方  
「ワーク・ライフ・バリュー」について考えるカンファレンス  
『Work Life Value Conference』を大阪で開催

共催： Well-Being OSAKA Lab

“働く人のライフスタイルを豊かにする”をミッション・ステートメントに社会課題の解決に取り組むリテンションマネジメントカンパニー株式会社 OKAN（代表取締役 CEO：沢木恵太）は、2019年11月26日(火)、新しい働き方について考えるカンファレンス『Work Life Value Conference』を大阪で開催いたします。

共催は Well-Being OSAKA Lab、後援は一般社団法人 at will work。



働き方改革、ワークライフバランス、女性活躍支援。

働き方について様々なトレンドが飛び交っているにも関わらず、まわりを見てみると「働きたいけど働けない人」が多いことに気づきます。子どもの出産育児のために辞めざるをえない、不健康になってしまい働き続けられない、介護のために実家にもどらなければならない、いろいろな「生活＝ライフスタイル」に関する理由が「仕事」に影響を与えます。働き方の多様化する今、仕事・社会（家庭）・個人を取りまく価値観は多岐に渡り、人によって欲求の順位や、欲求の中で重視する要素は異なります。重要なのは、これらの問題を個人の力だけで解決するのはとても難しく、必ず「仕事≒会社」が理解し、その支援をする必要があるということ。

人が辞めてしまった場合、採用や育成にかかったコストはもちろん、後任の採用にも少額ではないコストがかかります。金額面だけでなく、知識の損失、人の離脱によるチームの生産性低下など、離職による企業経営へのマイナス影響は計り知れません。働く人個人々人だけの問題ではありません。企業にとってもこの問題は他人事ではなく、解決しなければならない問題です。そこで重要視されている視点が、個人々が理想の働き方をそれぞれの価値観に合わせてつくっていく『ワーク・ライフ・バリュー（WLV）』。仕事と生活の調和をとる上で、個人が大切にしたいと考える生活観や家族観などの価値観です。

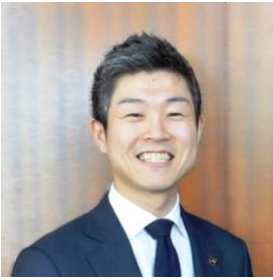
今回のカンファレンスはこのWLVについて考えるカンファレンスです。大阪府四條畷市長の東修平氏を中心に、同志社大学 政策学部教授太田肇氏、トウモロゲート株式会社代表取締役社長西康平氏など、“働く”“組織”のプロが登場します。（詳細は次ページ以降に記載）

株式会社OKANでは、事業や企業活動を通して、仕事と生活の調和をとる上で、個人が大切にしたいと考える生活観や家族観などの価値観『ワーク・ライフ・バリュー（WLV）』の支援をおこない、個人々が理想の働き方をそれぞれの価値観に合わせてつくっていく社会の実現を目指します。

【報道関係者向けお問合せ先】

株式会社 OKAN 細山 (kaori.hosoyama@okan.jp) 中村(hoshito.nakamura@okan.jp) TEL:050-1746-1112

## ■登壇者概要 ※随時追加予定



### 東 修平 氏 大阪府四條畷市長

2014年に外務省へ入省し、TPPなどの自由貿易協定交渉に携わる。その後、野村総研インドに転職。アジア新興国を中心に、企業のグローバル事業戦略・経営戦略の策定を支援。2017年1月、四條畷市長選挙に無所属で立候補し、初当選。全国最年少市長となる（当選時28歳）。就任直後、エン・ジャパン株式会社と連携して副市長を全国公募し、応募者1,700名の中から0歳児を子育て中の女性（38歳）が着任。働き方改革を柱に、前例主義に縛られない「日本一前向きな市役所」をめざして、組織改革に取り組む。



### 太田 肇 氏 同志社大学 政策学部 教授

神戸大学大学院経営学研究科修了。経済学博士。

専門は組織論、モチベーション論。

著書として『「承認欲求」の呪縛』（新潮新書、2019年2月刊）のほか、『「ネコ型」人間の時代』（平凡社新書）、『ムダな仕事が多い職場』（ちくま新書）、『なぜ日本企業は勝てなくなったのか 一個を活かす「分化」の組織論』（新潮選書）などがある。

その他、講演、テレビ出演など多数。



### 西崎 康平 氏 トゥモローゲート株式会社 代表取締役社長

人材コンサルティング会社で関西圏約500社の採用戦略を立案し、最年少役員を経て2010年トゥモローゲート株式会社を創業。大阪でいちばんおもしろい会社を目指すブラックな企業。会社の理念やビジョンに沿った芯のあるコンセプトから、クリエイティブの力で企業のブランド設計を支援するブランディングパートナー。Webやグラフィック、映像制作からオフィス内装まで、自社クリエイターによるデザインで個性的な企業ブランド戦略を提案。デザインアワードアジア入賞。注目の西日本ベンチャー100に選出。



### 大山 元康 氏 不二製油株式会社 人事総務部門長補佐

Well-Being OSAKA Lab実行委員長・大阪府公民戦略連携デスク スーパーアドバイザー  
1981年に不二製油株式会社に入社し、東京営業第二部長、執行役員、経営企画室長などを経て現職。東京支社、大阪支店、本社移転のプロジェクトリーダーを務め、オフィス環境改善や業務改革に取り組む。不二製油グループと大阪府との包括連携協定の締結においても尽力し、ESG 経営やリスクマネジメント、ダイバーシティを推進。大阪府と企業・大学等が連携し、働き方改革や健康経営に関する情報や課題を共有・解決するためのプラットフォーム「Well-Being OSAKA Lab」の実行委員長として活躍中。

## ■共催・後援

### 共催 | Well-Being OSAKA Lab



大阪府と企業・大学が連携し、働き方改革や健康経営等に関する課題・情報を共有し、健康に関する様々な課題解決を図るために設立(参画企業・団体 149 社 ※2019年10月1日時点)。

少子高齢化、人口減少社会、高度 IT 化時代を迎え、多様な人材の活用、健康経営の推進、生産性向上といった経営にとって必要なテーマを扱う。

大阪府をはじめ、一般社団法人 FC 大阪スポーツクラブ・カゴメ株式会社・東京海上日動火災保険株式会社・不二製油株式会社・ミズノ株式会社・ロート製薬株式会社が実行委員に名を連ねる。

## 後援 | 一般社団法人 at Will Work

“働き方”を選択できる社会へ



一般社団法人 at Will Work は、“働き方を選択できる社会づくり”の実現に向けて、ノウハウの蓄積・体系化・共有を通じ、企業・人・団体の働き方事例の共有プラットフォームとして、2016年5月20日に発足した団体。

“働くストーリー”を集める5年間限定のアワードプログラム「これからの日本をつくる100の“働く”をみつけよう『Work Story Award2019』や、毎年700名以上を集める、カンファレンスを開催している。

### ■ カンファレンス概要

- 日時 : 2019年11月26日 (火)
- 場所 : グランフロント ナレッジシアター
- 規模 : 300名
- 対象 : 人事・総務・管理部門の担当者
- セッション数 : 5セッション (開会あいさつ、基調講演含む)
- プログラム

### ■ 株式会社 OKAN 企業概要

株式会社 OKAN は、「働く人のライフスタイルを豊かにする」をミッション・ステートメントに、リテンションマネジメントカンパニーとして、人材不足が深刻である日本における企業課題と社会課題の解決に取り組み、「働きつづけられる」社会を実現することを目指しています。

仕事内容だけでなく、健康、家庭との両立、自分らしい生活など、あらゆる価値観=「ワーク・ライフ・バリュー」を各企業個々が理解し従業員をサポートするために、ぷち社食サービス「オフィスおかん」、ハイジーンファクターを数値化し、問題の原因と優先順位を明確にできるハイジーンファクター改善サービス「ハイジ」の2事業を展開。

これらの問題特定から改善・解決までの支援サービスを企業向けに提供しています。

- 会社名 : 株式会社 OKAN (URL: <https://okan.co.jp/>)
- 代表者 : 沢木恵太 (さわきけいた)
- 住所 : 〒171-0022 東京都豊島区南池袋 1-16-15 ダイアゲート池袋 10 階
- 設立年月 : 2012年12月10日
- 事業概要 : ぷち社食サービス「オフィスおかん」 (<https://office.okan.jp>)  
ハイジーンファクター改善ツール「ハイジ」 (<https://hygi.jp/>)